喚鐘を綺麗に打ちたい人へ

喚鐘の上達のコツは

強弱、間隔、なめらかさ

打ち上げの初めは、できるだけ弱く、
間隔は　できるだけ短く、細かく打つ。
最初から、強く打ってしまうと、強弱の差が感じられず　メリハリがなくなる。
初めの間隔を十分に短く細かくしないと、後で間隔を空けることができず単調になる。
だんだんと強く力を入れて、少しずつ間隔を長くしていく。
途中で急にスピードが変わらないように、なめらかさに注意する。

打ち下ろしは、その逆です。
初めは、できるだけ強く、間隔は長く打つ。
最初が弱いと、ずっと弱いままで　メリハリがなくなる。
はじめに十分間隔を空けておかないと、後で間隔を短くできず　単調になる。
徐々に打つ力をゆるめ、だんだんと間隔を短く細かくしていく。
この時も、スピードの急変を防ぎながら、なめらかさを意識する。

練　習　方　法

ご自宅の仏壇で打ち上げ、打ち下ろしを　それぞれ時計を見ながら
20秒、30秒というふうに時間を決めてやってみる。
単調になったり、スピードが急に変わらないように気を付けること。

他の人の打ち方を　よく聞いて、どこが良いか、悪いかを考えてみる。
ヒントは打ち上げ、打ち下ろし　共通して最初の打ち方で大体分かります。

打ち上げの初めが強く、細かさが足りない人は、短時間で終わってしまいます。
打ち下ろしの初めの間隔を十分空けないと、これも短時間で終わってしまいます。
上手な人が打つと、なんとなく時間が長く感じるのは、この逆をやっているからです。

20秒以上かけて、スピードが急変せず、最後で行き詰まることなく、
なめらかに　打ち上げ(打ち下ろし)が出来るように練習してみましょう。